

アドバイスと体験談

○ アドバイザーから

◇ 「自分を知る」ということ

自分に合った仕事を見つけるためには、職業興味、職業適性、作業特徴等の「自分自身を知る」ことが重要です。

まずは、いろいろな作業を経験し、どの作業が自分に向いているか考えてみましょう。そして、向いていると思う作業の中から、希望職種を選んでみましょう。

希望職種がはっきりしてきたら、自分の過去の経験をふりかえり、その職種が自分の経験を活かせるものかどうかについても考えてみましょう。もし、未経験の職種の場合は、職場実習やトライアル雇用などを活用してもよいと思います。

希望職種だけではなく、「自分に合った職場環境」について考えることも重要です。

職場の対人関係に悩み、ストレスがたまって、やむを得ず会社をやめた経験がある人もいるかもしれません。あなたがこれから就職する会社に気軽に相談できる人がいれば、ストレスや不安が高まる前にうまく対処できるかもしれません。

いろいろな作業を経験したり、会社の担当の方や支援者と相談したりする中で、自分の作業やコミュニケーションの特徴や、自分と他の人との特徴の違いについて知り、それをもとに自分に合った仕事や職場環境を選択することが重要です。

支援者と相談しながら、自分の特徴や会社に理解してほしいこと等を取りまとめておき、面接の際、会社の担当の方にそれを伝えることができれば、あなたと企業の相互理解や信頼関係がより深まり、あなたがより働きやすい職場環境が実現できるのではないのでしょうか。

(カウンセラー)

◇ どのように環境調整をするか

私たちジョブコーチは、皆さんが職場で困っていることについて、皆さんとともに課題を整理したり、解決策を相談したりしながら、職場定着に向けた支援を行っています。

例えば、会社からの作業指示があいまいで、皆さんが「いつ、どこで、何を、どこまで、どのような順番で」行うのか戸惑っている時は、皆さんの特徴を会社の担当の方に説明した上で、指示内容を具体的・簡潔に伝えます。また、指示内容が眼で見て分かるように、視覚教材やマニュアルを作成し、皆さんにお渡しすることもあります。

これまでの職歴の中で、複数の人から違う指示をされて困ったという人、また、スケジュールが毎日変更になって戸惑った人などいます。このため、会社の担当の方には、

指示を出す人を決めてもらう、スケジュールの変更をなるべく少なくする等の配慮をお願いしています。また、皆さんが安心して働けるよう、皆さんの特徴を理解し、皆さんが困った時には率直に相談できるような関係作り・体制作りをお願いしています。

(ジョブコーチ)

○ 就職した人たちから

◇ 障害者職業センターに行くまで

大学に進学しましたが、レポート作成が苦手で単位が取れず、家族と相談の上、中退しました。その後、いくつかアルバイトの面接に行きましたが、将来がかかっていると思うと、プレッシャーで頭が真っ白になってしまい、やり取りがうまくできず不採用が続きました。やっと入った会社でも、複数の作業を段取りよくこなすことが要求されて、うまく対応できませんでした。作業ミスを直そうといろいろな努力をしましたが、うまくいかず、居づらくなって会社をやめてしまうことが続きました。また、会社では注意や叱責続きだったので、すっかり自信をなくしてしまい、将来への不安が日に日に募っていました。

そんな時、テレビで発達障害の特集番組を見て「自分にも当てはまるところがある」と感じました。もうすぐ 30 歳で、とにかく今の状況を変えないといけなと思い、番組で話題になっていた発達障害者支援センターを探しました。また、支援センターから障害者職業センターを紹介してもらいました。

始めは、「障害者」という名称のところに相談に行くことに抵抗がありましたが、支援センターでも障害者職業センターでも、私の話を親身に聞いてくれました。また、これまで私は「頑張ればできる」「配慮や支援をしてもらう＝甘え」と考えていましたが、支援センターや障害者職業センターで相談をするうちに、少しずつ「できることと苦手なことを理解し、できることは大切に伸ばす。苦手なことは周囲の配慮を得ても恥ずかしくないし、それが就職・職場定着への近道だ」と考えるようになりました。

私は、今、障害を会社にクローズドにして働こうとしていますが、以前とは違って「困った時に相談できるところがある」という安心感があります。また、支援センターや職業センターと相談しながら整理した「自分のできること、苦手なこと」を考えながら、働こうと考えるようになってきています。

(29 歳、大学卒)

◇ ワークシステム・サポートプログラムに参加して

私は、自分の特徴が周囲の人と違うことにずっと悩んでいました。何とか周囲に適応しようと努力したんですが、「能力があるのに努力が足りない」等と言われ続けて、傷

つき、苛立ったこともありまして。仕事もうまくいかず、病院や発達障害者支援センターと相談したところ、障害者職業総合センターに発達障害者を対象とした就労支援プログラム（ワークシステム・サポートプログラム）があることを知りました。

始めは、どんなプログラムなのかよく分からず不安でしたが、受講するうちに「いろいろな体験を積む中で、自分の特徴や就職に向けての課題を整理する」ことが目的だと理解できました。

プログラムは、就労セミナー、作業、個別相談の3つがありました。

就労セミナーの職場対人技能トレーニングでは、報告や質問等の職場に必要なコミュニケーションについて、自分自身がロールプレイをしたり、同じ障害を持つ方との意見交換をしたりしました。その中で、自分と他の人との特徴や考え方の違い、自分では気付かなかったコミュニケーションの癖、その時々場面によって相手の受け止め方が異なること等を理解することができました。

また、私は、どのように就職活動を進めたらよいか、自分に合った仕事は何か、何ができるのか等が分からず悩んでいたんですが、プログラムの作業や職場実習での体験、カウンセラーの方との個別相談の中で、それらを少しずつ整理することができました。

そして、プログラム修了後、就職することができました。これまでは自分の特徴をマイナスにしか考えられなかったのですが、プログラムを受講してみて、自分の特徴を冷静にふりかえることができたし、今では「自分らしさを出してもよい」、「他の人との違いがあっても、工夫次第でやっていけるんだ」と考えるようになってきました。

（25 歳、専門学校卒）

◇ 私が採用されるまでに努力したこと

私は、複数の作業内容を指示されると、どんな手順で作業を進めていいのかがわからなくなってしまう、ミスをしてしまうことがあります。また、質問されるとあわててしまい質問内容を聞き逃したり、相手に自分の意思を正しく伝えようとするとついつい話が長くなってしまいます。

このため、まずは、面接に行く前に、支援センターや障害者職業センターの方と相談しながら自分の特徴を整理し、面接で会社の担当の方にきちんと説明できるよう準備しました。

また、ハローワークで聞いた話を参考にして、希望職種を考え直したり、企業研究をした上で、面接に臨みました。さらに、以前は「数打ちゃ当たる」の精神でやみくもに面接していたのですが、面接後は支援者の方とふりかえりをし、次の目標を考えながら1つ1つ着実に就職活動を進めるよう心がけました。

そして、何より、自分だけで無理に結論を出そうとしないで、支援者の方と相談しながら就職活動を進めました。今の会社に採用されるまでに、何社も不採用になりましたが、あきらめずにねばり強く就職活動を続けることができたのは、周囲の方の支えがあったからこそだと今は感じています。

（27 歳、高校卒）

○ 研究会事務局からのメッセージ

◇ 就職支援窓口をうまく利用するために

様々な就職支援の窓口が設けられています。これらの窓口を利用して就職活動のサポートを受けられます。うまく利用することを考えてみてください。

ハローワーク、ジョブカフェ、若者サポートステーション

最も一般的な就職支援窓口であるハローワーク、若者向けの窓口であるジョブカフェでは、就職関連情報を集めたり、各種の就職関連セミナーへの参加などが可能です。もちろん、個別の相談の利用も可能で、就職支援の知識・経験の豊富な担当者と話し合ったりアドバイスを受けることができます。また、若者サポートステーションは、働くことに問題を抱えている若者向けの窓口で、仕事についての相談を受けられます。

これらの窓口では、相談の過程で、ご本人の希望に基づき、発達障害のある方々に対する専門的な支援機関を紹介してもらうこともできます。

ハローワークの専門窓口、障害者職業センター、発達障害者支援センターなど

ハローワークでは、一般的な相談だけでなく、発達障害のある方々向けの専門的な相談活動も行っています。

各都道府県に設置されている障害者職業センターでは、発達障害のある方々のそれぞれの特性に応じた援助が受けられます。センターを通じたサポートの例は、このガイドブックの事例で紹介したとおりです。

また、発達障害者支援センターなど、発達障害のある方々のための専門的な相談に応じる施設が他にもできています。これらの専門的サービスを行う機関は、発達障害のある方々が直接利用を申し込むことも可能ですし、また、上でもお示したように、ハローワーク、ジョブカフェなどでの相談の過程で、紹介を受けて利用することも考えられます。

◇ 信頼できる相談先を見つけるために

このガイドブックでは、発達障害があり、仕事に関する悩みを抱えている方々に、求職活動のヒントを提供しています。ただし、いくつかの事例を中心に、一般的なポイントを示しただけです。自分の希望や特性にあった職に就き、働きやすい職場環境を実現するためには、相談窓口を見つけ、個人の特徴にも配慮したサポートを受ける必要がある場合が多いのではないのでしょうか。

チェックシートの使い方

次のページから 11枚のチェックシートが続きます

自分の課題を分析したり、考えをまとめたり、また、専門的な相談をする時にも利用できます。

（チェックシートはミシン目で切り離して使うことができます。）

チェックシートに記入してみると、「うまく書けない」「空欄が多い」「何を書いてよいか困ってしまった」などのシートがあるかもしれません。その時が、自分にあった相談先を探すチャンスです。よりよいライフデザインを描くために、自分にあったサービスをみつけるために、活用してください。

ステップ3の「ケーススタディ」で、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人がそれぞれ、自分にあった相談先を見つけたように、あなたにあった相談先が見つけられることを期待します。

また、一人でチェックシートを完成させることが難しい場合には、カウンセラーと相談しながら、一緒にチェックシートを完成させるという使い方もあります。

チェックシート① 自分にとっての仕事・働き方へのこだわりは・・・

自分にとって仕事とは？

あてはまる□にチェック

☐ 仕事を通じて自己実現したい
なぜそう思うのか？ 具体的な目標は？
☐ 仕事と個人生活のバランスを大切にしたい
なぜそう思うのか？ 最も優先する条件は何か？
☐ 仕事は生活を維持していくための手段
なぜそう思うのか？ どの程度の労働条件を求めるのか？
☐ 働くことで社会貢献したい
なぜそう思うのか？ どんな分野で貢献したいのか？
☐ その他

ワークスタイルへのこだわりは？

☐ ぜひとも正社員に
なぜそう思うのか？ どのような点がメリットか？
☐ アルバイトやパートを続けてもよい
なぜそう思うのか？ メリット・デメリットは？
☐ 独立自営したい
なぜそう思うのか？ 具体的な計画は？
☐ その他

チェックシート② ワークスタイルの「こだわり度」をチェック

分野	こだわり項目（例）	小←こだわり度→大
仕事内容	好きなこと、興味のある分野で仕事をしたい	1 2 3 4 5
	できるだけ身体的に負担の少ない仕事がよい	1 2 3 4 5
	変化の多い仕事がよい	1 2 3 4 5
	自分の判断や裁量に任せられる仕事をしたい	1 2 3 4 5
	その他（ ）	1 2 3 4 5
労働条件	労働条件の中では賃金水準を最も重視する	1 2 3 4 5
	残業が多くても賃金が高いほうがよい	1 2 3 4 5
	賃金が高くななくても毎月安定しているほうがよい	1 2 3 4 5
	社会保険・労働保険には必ず加入したい	1 2 3 4 5
	その他（ ）	1 2 3 4 5
環境	職場の設備や周囲の環境がよいところで働きたい	1 2 3 4 5
	通勤の便など、立地条件を重視する	1 2 3 4 5
	人間関係がよければ他のことはかなり我慢できる	1 2 3 4 5
	自分がよく名前を知っている会社で働きたい	1 2 3 4 5
	その他（ ）	1 2 3 4 5
生活との両立	転勤や異動があまり多くない職場がよい	1 2 3 4 5
	季節や時期による仕事量の変動が小さいほうがよい	1 2 3 4 5
	休暇が取りやすい職場がよい	1 2 3 4 5
	自分の都合に合わせて労働時間を選べる職場がよい	1 2 3 4 5
	その他（ ）	1 2 3 4 5
将来設計	できるだけ長く勤められる職場がよい	1 2 3 4 5
	自分の職業能力を高めることができる職場がよい	1 2 3 4 5
	現在多少大変でも、昇進の可能性のある仕事がよい	1 2 3 4 5
	将来自営・開業できる仕事がよい	1 2 3 4 5
	その他（ ）	1 2 3 4 5
この他にこだわりたいと思うことは？		
こだわりたいことに優先順位をつけてみると・・・		
①		
②		
③		

ここで「こだわり度」の高かった項目は、求人情報を見るときに要チェック。

自分のこだわりがどれくらい満足できる職場か確認して、意思決定の手がかりに。

（記入例 13ページ）

チェックシート③ 自分のキャリアを総点検

学生の時は・・・

職業科、専門課程などの学習	時期（ 歳）	専門分野の知識・技術・資格など
在学中の主な学習活動や体験	時期（ 歳）	主な内容、印象に残っていること
（例） 職場見学 職場実習 インターンシップ ボランティア活動 職業（就職）ガイダンス キャリア・カウンセリング 職業適性検査 職業興味検査 その他 自分なりにがんばったと思う経験		

職歴・アルバイト歴・・・

時期（期間）	職種	雇用形態	具体的な仕事内容	習得した知識・技術・経験・資格
年 月 ～ 年 月 （ か月）				

（記入例 11 ページ）

チェックシート④ 自分のキャリア・マップを作ってみる

就職に役立ちそうな自分の職業経験・資格などを分野別に書き出してみよう・・・

生産関連の職業分野	建設の職業分野	オフィスの職業分野	販売の職業分野
(例) 食品製造のアルバイト (○か月)	(例) 測量士資格	(例) ワープロ検定○級	(例) 書店店員 (○年)
専門・対事業所サービスの職業分野	個人・家庭向けサービスの職業分野	福祉・社会サービスの職業分野	医療・保健の職業分野
(例) ビル警備員のアルバイト (○か月)	(例) 喫茶店店員のアルバイト (○年)	(例) ホームヘルパー○級	(例) 栄養士資格
教育の職業分野	運輸・通信の職業分野	マスコミ・デザインなどの職業分野	自然を対象とする職業分野
(例) 中学校教員免許	(例) 自動車運転免許	(例) グラフィックデザイン 課程修了	(例) 環境ボランティア (通算○年)

- ・いくつか書き込むことができた分野がありましたか？
- ・書き込みの多いところは、職業選択の手がかり・就職活動の足場にできるフィールド。
どんな関連職業があるか、他にも取得できそうな資格があるかなど、まずはそこから調べてみては？
(記入例 14 ページ)

チェックシート⑤ 就職活動の経験进行分析

経験あり

事前準備で・・・

- ・情報収集の不足 □
 〔具体的に 〕
- ・心の準備が不足 □
 〔具体的に 〕
- ・条件が不一致 □
 〔具体的に 〕

アプローチのとき・・・

- ・相手への配慮が不足 □
 〔具体的に 〕
- ・第一印象がよくなかった □
 〔具体的に 〕
- ・遅刻、忘れ物 □
 〔具体的に 〕

面接本番で・・・

- ・無理な受け答えをした □
 〔具体的に 〕
- ・前後の時間に気が緩んだ □
 〔具体的に 〕
- ・あわててしまった □
 〔具体的に 〕

フォローアップのとき・・・

- ・簡単にあきらめすぎた □
 〔具体的に 〕
- ・迷ったまま行動できなかった □
 〔具体的に 〕
- ・一人で悩んでしまった □
 〔具体的に 〕

就職した企業で・・・

- ・仕事のイメージと実際にギャップがあった □
 〔具体的に 〕
- ・労働条件をよく理解していなかった □
 〔具体的に 〕
- ・人間関係が難しかった □
 〔具体的に 〕

(記入例 19 ページ)

チェックシート⑥ キャリアデザインをしてみよう

10年後の自分の目標とするイメージは・・・

--

自分の理想のワークスタイルは・・・

--

今一番やってみたいと思っている仕事は・・・

--

今の自分に付け加えたい力は・・・

--

そのために今やっていることは・・・

--

次に必要なことは・・・

--

とりあえず実行しようと思うプラン・・・

--

(記入例 10ページ)

チェックシート⑦ 希望する職業について分析してみよう

希望する職業名	
ものを作ったり組み立てたりする仕事ですか	YES →何を？
ものを考えたり調べたりする仕事ですか	YES →どんなことを？
人と接したりサービスしたりする仕事ですか	YES →どんなふうに？
計算したり書類を作ったりする仕事ですか	YES →例えば？
会社や組織で人をまとめる仕事ですか	YES →具体的には？
美術や音楽、文芸など芸術的活動にかかわる仕事ですか	YES →どんな分野？
仕事に道具や機械などを用いますか	YES →どんなものを？
賃金水準や賃金形態に特徴がありますか	賃金水準 ☐ 月給 ☐ 日給 ☐ 時給 ☐ 歩合給 ☐ 年俸 ☐ その他
労働時間や休日に特徴がありますか	☐ 交替制 ☐ 夜間 ☐ 季節的繁閑 ☐ 時間帯別繁閑 ☐ 土日勤務
どのような職場環境が多いですか	☐ 工場 ☐ オフィス ☐ 店舗 ☐ 施設 ☐ 屋外 ☐ 騒音 ☐ その他
どのような雇用形態で働いている人が多いですか	☐ 正社員 ☐ パート ☐ アルバイト ☐ 派遣 ☐ 自営 ☐ その他
性別の構成比はどうなっていますか	
若い人が多い職業ですか	
この職業に就くために必要な資格がありますか	
持っていると役に立つ技術や知識がありますか	
資格や技術・知識はどういう方法で身につけられますか	
あなたにはこの職業に関連する知識や経験がありますか	
この職業に就いている人は増加傾向にありますか？	
この職業のどのようなところが魅力ですか？	
その他気がついたこと	

(記入例 16ページ)

チェックシート⑧ 希望する業界の状況について調べてみよう

希望する業界名	
どのような製品やサービスを提供していますか	
操業や営業の形態に特徴がありますか	☐ 季節的繁閑 ☐ 深夜営業
どのような職種の人が多く働いていますか	
どのような地域に多く立地していますか	☐ 全国 ☐ 特定地域 ☐ 都市部 ☐ 工業地域
どれくらいの規模の企業が多いですか	☐ 全般 ☐ 大企業中心 ☐ 中小企業が多い
労働条件に特徴がありますか	
雇用の場が拡大しそうな業種ですか	
技術革新の激しい業種ですか	
海外との競争のある業種ですか	
開業・廃業など企業の入れ替わりの多い業種ですか	
中途採用者の多い業種ですか	
長く勤続する人が多い業種ですか	
職場の性別構成比はどうなっていますか	
若い従業員が多い業種ですか	
パート・アルバイト・派遣労働者の多い業種ですか	
資格を必要とする職種が多い業種ですか	
この業界のどのようなところが魅力だと思いますか	
その他気がついたこと	

(記入例 17ページ)

チェックシート⑨ 自分の求職条件と志望企業の求人条件とのバランスをチェック

企業名 ()

自分の求職条件	項目(条件の一致度)	企業の求人条件
	職種 ()	
	仕事の内容 ()	
	事業内容 ()	
	就業場所 ()	
	雇用形態(雇用期間) ()	
	年齢 ()	
	学歴 ()	
	経験・免許資格など ()	
	就業時間 ()	
	残業時間 ()	
	休日 ()	
	賃金形態 ()	
	毎月の賃金 ()	
	社会保険の加入 ()	
	社宅・寮など ()	
	その他の雇用制度 ()	
	その他特記事項	

一致している項目はどれくらいありますか？

ちがいの大きな項目は何ですか？

比較した結果についてどう考えますか？

(記入例 21 ページ)

チェックシート⑩ 就職活動直前チェックリスト

問合せ・応募のとき

企業名	
採用担当部署・担当者名	
連絡先（電話・メール）	
所在地・交通手段	
受付期間・時間	
募集対象・人数	
採用試験の内容	
必要書類	
確認したいこと（メモ）	・ ・ ・
問合せ記録 （日時、対応者、内容）	・ ・ ・

採用試験・面接のとき

試験（面接）日時	
場所	
交通手段・所要時間	
必要書類	
求人企業の概要・ 求人内容の確認	
履歴書、職務経歴書等の 内容の確認	
面接時に確認したい事項	
身だしなみ、服装	
携行品のチェック	☐ 応募書類 ☐ 履歴書 ☐ 筆記用具 ☐ メモ用紙 ☐ 時計 ☐ その他
試験（面接）手順の確認	

チェックシート⑪ 職場で必要な支援について考えてみよう

職場でうまく適応できなくて困っているとき、特別な配慮があるとうまくいくかどうか考えてみましょう。

今まで、自分が注意されたことを思い出して、自分で評価をしてみましょう。

- a 自分でも困っている
- b 特別な配慮があればうまくいくかも知れない
- c 注意されることは不満だ（なぜ注意されるのかわからない）
- d 注意されることはない（自分にはこの問題はない）

就職した経験がない場合でも、これまでの経験を振り返って「就職するとしたら」と考えて評価をしてみましょう。

仕事について	注意された経験	自分の評価
例) 作業が雑だ	<u>ある</u> ・ ない	b
作業が雑だ	ある ・ ない	
作業にミスが多い	ある ・ ない	
作業に時間がかかる（遅い）	ある ・ ない	
複数の工程を同時に任せられない	ある ・ ない	
作業後に、チェックが必要だ（ひとりでは仕事を任せられない）	ある ・ ない	
指示を忘れる（指示されたことの確認が必要だ）	ある ・ ない	
分からないときでも、適切に質問できない	ある ・ ない	
作業手順やスケジュールに予定外の変更があると混乱する	ある ・ ない	

対人関係について	注意された経験	自分の評価
挨拶が適切にできていない	ある ・ ない	
感謝や謝罪の言葉を適切に使えない	ある ・ ない	
上司への接し方が適切でない	ある ・ ない	
率直にものをいいすぎる	ある ・ ない	
相手を不愉快にするような言葉遣いをしている	ある ・ ない	
言い訳が多い	ある ・ ない	
職場の基本的なルールが守れていない	ある ・ ない	
場の空気が読めない	ある ・ ない	

この他に、職場で特別な配慮がないと失敗するのではないかとと思っていることは？

職場で配慮があるとうまくいくのではないかとと思うことをあげてみると……

- ①
- ②
- ③

- ・ いくつか書き込むことがありましたか？
- ・ 書き込みの多いところは、専門家に相談するときのポイントです。

（記入例 28.31.33.35ページ）

近くの相談窓口

ハローワーク	http://www.hellowork.go.jp/html/list.html
若者向けハローワーク(学生等就職支援ネット)	http://www.mhlw.go.jp/kyujin/sien.html
学生職業センター・学生職業相談室等	http://job.gakusei.go.jp/F/F2001500.asp
ジョブカフェ	http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/jakunensha-jobcafe.html
高齢・障害者雇用支援機構障害者職業センター	http://www.jeed.or.jp/jeed/location/loc01.html#03
発達障害者支援センター	http://ww3.tiki.ne.jp/~teppey/adbook/center.html
障害者就業・生活支援センター	http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/shougaisa02/pdf/14.pdf
ハローワークインターネットサービス	http://www.hellowork.go.jp/
しごと情報ネット	http://www.job-net.jp/

発達障害のある若者の職業ガイダンス研究会

本冊子は、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センターが設置した「発達障害のある若者の職業ガイダンス研究会」において検討を行い、事務局でとりまとめました。

この冊子は、独立行政法人 労働政策研究・研修機構(JILPT)編集・発行の『就職サポートブック 2007 年』を参考に、新たに発達障害のある若者向けに執筆した内容を追加して本研究会の責任において再構成・編集したものです。

本研究会では、冊子作成にあたり、独立行政法人 労働政策研究・研修機構をはじめとして、資料の提供など、ご協力いただきました関係機関等の皆様に心より感謝申し上げます。

〈発達障害のある若者の職業ガイダンス研究会委員〉

※稲田 憲弘	障害者職業総合センター職業センター企画課企画係長
※小泉 哲雄	障害者職業総合センター統括研究員（事務局長）
※向後 礼子	障害者職業総合センター研究員
小杉 礼子	労働政策研究・研修機構統括研究員
津富 宏	静岡県立大学国際関係学部准教授
※東條 吉邦	茨城大学教育学部教授（主査）
※望月 葉子	障害者職業総合センター主任研究員
山岡 修	JDD ネット代表
※吉田 泰好	障害者職業総合センター職業センター企画課長

（五十音順、2008 年 3 月現在 / ※印：就職支援ガイドブック開発部会委員）

〈事務局〉 冊子の内容に関する問い合わせ先

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター企画調整室

E-mail kikakubu@jeed.or.jp

◇ 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 ホームページ

<http://www.jeed.or.jp/>

障害者職業総合センターホームページ

<http://www.nivr.jeed.or.jp/>

上記サイトでは、障害のある若者の就労支援問題に関するトピックス、調査・統計、法律・制度・対策、進路選択や職業相談に関連する調査研究や刊行物、その他のツールなどについての情報を掲載しております。また、障害者雇用に関する各種支援メニューもあります。是非ご活用下さい。

就職支援ガイドブック

……発達障害のあるあなたに……

編著・発行 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 3-1-3

電話 043-297-9067

FAX 043-297-9057

発行日 2008年3月

印刷・製本 株式会社イマイシ

© 2008 障害者職業総合センター



NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION